

インパクトのある指摘と 改善提案を導くスタンダード

～指摘と改善提案にインテリゼンスを与えて専門的な作品に仕上げる規律とルール

「内部監査実務マスター・コース」〔第3回開催分（全9回）〕

- 日時 ● 2019年11月7日（木）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・四ツ谷 『主婦会館プラザエフ』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

会計監査を約20年続ける中、アンダーセンでは監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査に特化し、アンダーセン消滅後は朝日監査法人代表社員を辞してPwC（中央青山監査法人）に移り代表社員も務め、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任。2012年、シニアパートナーを早期退任し、ボルボ・グループで日本の内部監査統括を務め、同グループ会社UDトラックス㈱の監査役を今年まで続け、現在、藤井範彰公認会計士事務所として内部監査や不正対応・ガバナンス関連の講演や研修及び執筆活動に従事。

【最近の著書】「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」同文館出版2016年で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」2012年税務経理協会、論文「内部監査のアシュアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

●プログラム●

■講義／インパクトのある指摘と改善提案を導くスタンダード<14:00-16:30>

内部監査の価値を決定づけるのは、いかに経営にインパクトのある報告書を提示できるか、特に指摘事項・改善提案の出来栄です。今回は主に業務監査における指摘事項と改善提案の切り出し方、書式、文章表現など標準例を具体的な事例を提示して各社が体系的なスタンダードを作る材料を事例形式で提供します。この分野はIIAその他の実務指針が少ないこともあって、あまり検討もせずに社内の慣行を踏襲している企業が多く、それだけに見直しの効果は潜在的に高い領域です。これまで習慣的に続けてきた報告書の書き方を体系的に整理して改善するきっかけにしてください。

1. 業務監査における指摘・改善提案を導くロジックの組み立てと記載内容

- ・改善提案の3つのパターン、指摘事項に説得力を与える構成要素、リスクの記載要領など

2. 事例から感じ取る指摘と改善提案の勘どころ

- ・ケーススタディによる良い例・悪い例の検討

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	33,000円	一般	36,300円
-----	---------	----	---------

[本体価格 30,000円 本体価格 33,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者がご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（一社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 080-2102-1604/FAX 03-5215-0951

190188	2019 11/7 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★本コースの全体プログラムは、弊会ホームページをご参照ください。
「企業研究会 内部監査実務マスター・コース」